

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	学校施設整備室
	施策	学びを支援する教育環境の充実		電話番号	087-839-2612
	取組方針	学校教育施設の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	小・中学校施設老朽化対策事業			

【事業全体概要】

事業概要	小・中学校施設について、維持管理コストを抑えながら長寿命化を図り、良好な教育環境を維持するとともに、ファシリティマネジメントの視点に立った施設の有効利用を図るため、中・長期的視点に立った学校施設長寿命化計画を策定し、計画的かつ効果的な老朽化対策に取り組みます。				
年度概要	改築事業（実施設計・工事） 長寿命化改修（実施設計） 外壁等改修（実施設計・工事） 屋根・屋上改修（実施設計・工事）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	学校教育法

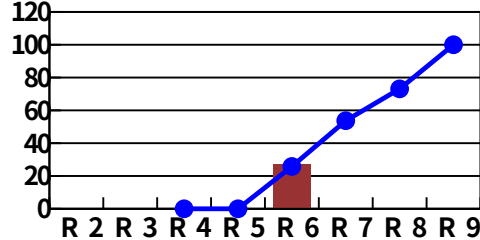
【事業の目的】

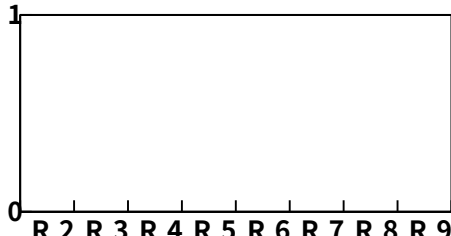
対象（何を）	小学校、中学校
意図（どのような状態にしたいか）	計画的かつ効果的な老朽化対策を実施することで、学校施設の整備コストを抑えながら、長寿命化を図り、良好な教育環境を維持するとともに、ファシリティマネジメントの視点に立った、施設の有効活用を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	老朽化対策に着手した施設件数	件	0	0	25	26	18
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	老朽化対策進捗率	%	目標値	0	0	25.8	53.7	73.1	
			実績値	0	0	26.9			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	長寿命化計画による計画的かつ効率的な老朽化対策を行うため、協和中学校東棟校舎等改築基本設計業務を行い、香南小学校校舎等改築工事は、完了した。								
				(目標達成度) 104.3%					
				(得点) 35点					

成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
			目標値						
			実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
				(目標達成度)					
				(得点)					

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)	
トータルコスト	[千円]	2,096,464	2,622,918	1,681,951	600,341	
	(事業費)	[千円]	2,088,980	2,615,391	1,627,293	545,683
	(職員人件費)	[千円]	7,484	7,527	54,658	54,658

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費	
令和 6 年度	改築事業（基本設計・実施設計・工事） 長寿命化改修（実施設計） 外壁等改修（実施設計・工事） 屋根・屋上改修（実施設計・工事）	委託料 71,223千円 工事請負費 1,552,488千円 備品購入費 3,582千円	総額 1,627,293	
			特定財源	国 147,304
				県 0
				市債 1,338,300
				他 89,000
			一般財源 52,689	
令和 7 年度	改築事業（実施設計・工事） 長寿命化改修（実施設計） 外壁等改修（実施設計・工事） 屋根・屋上改修（実施設計・工事）	委託料 256,616千円 工事請負費 289,067千円	総額 545,683	
			特定財源	国 53,752
				県 0
				市債 380,400
				他 109,000
			一般財源 2,531	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

学校施設長寿命化計画に基づき、事業費の平準化及び抑制に努めるとともに、計画的かつ効果的な老朽化対策に取り組む必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

学校施設長寿命化計画における直近５年間の整備計画に基づき、各工事を計画的かつ効果的に国の補助金等を活用し、老朽化対策に取り組む。

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	学校施設整備室
	施策	学びを支援する教育環境の充実		電話番号	087-839-2612
	取組方針	学校教育施設の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	小・中学校バリアフリー整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	障がいの有無にかかわらず、子どもが安全かつ円滑に学校生活を送るため、学校にエレベーターを設置するなど、学校教育施設の計画的なバリアフリー化に取り組みます。				
年度概要	実施設計 工事				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	学校教育法

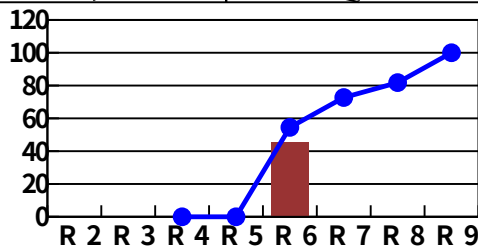
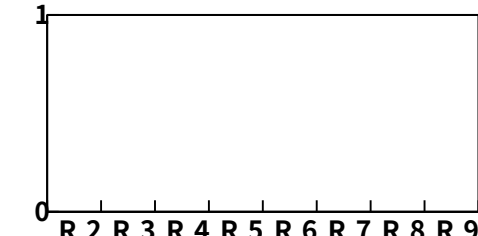
【事業の目的】

対象（何を）	小学校、中学校
意図（どのような状態にしたいか）	新たに要配慮児童・生徒が在籍する場合には、優先的な整備を検討し、今後、長寿命化計画に基づく増改築や、大規模な改修に合わせて整備することにより、教育環境の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	エレベーター設置に着手した校数	校	0	0	5	2	1
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8		
	バリアフリー整備進捗率	%	目標値	0	0	54.5	72.7	81.8		
			実績値	0	0	45.5				
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	財源の確保に努め、計画どおりに予定校のエレベーター棟増築 実施設計に着手した。	(目標達成度)								
(得点)										
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8		
			目標値							
			実績値							
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
		(目標達成度)								
(得点)										

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	0	12,397	71,025	284,353
(事業費)	[千円]	0	4,870	34,741	248,069
(職員人件費)	[千円]	0	7,527	36,284	36,284

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	実施設計	役務費 370千円 委託料 34,371千円	総額	34,741	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	34,100
			他	0	
			一般財源	641	
令和 7 年度	実施設計 工事	委託料 15,302千円 工事請負費 232,767千円	総額	248,069	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	247,900
			他	0	
			一般財源	169	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	82 / 100 (82%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
財源確保に努め、計画通り完了できるよう、事業を進めていく。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
新たに要配慮児童・生徒が在籍する場合には、優先的な整備を検討することとするが、今後、長寿命化計画に基づく増改築や、大規模な改修に合わせて整備を行う。						

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策		個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	学校施設整備室
	施策		学びを支援する教育環境の充実		電話番号	087-839-2612
	取組方針		学校教育施設の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		小・中学校体育館空調設備設置事業			

【事業全体概要】

事業概要	避難所となる小・中学校の体育館について、具体的な年次計画を立て、空調設備を設置する。				
年度概要	アドバイザー業務 実施設計				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	4-②	関連根拠法令	学校教育法

【事業の目的】

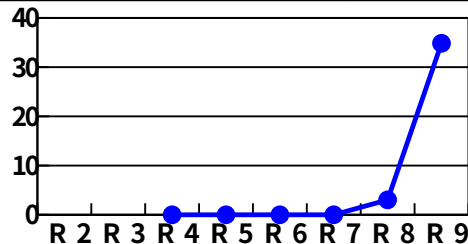
対象（何を）	小学校、中学校
意図（どのような状態にしたいか）	授業における子どもの熱中症の発症などを防止するため、小・中学校体育館への計画的な空調設備の設置に取り組む。

【事業の活動】

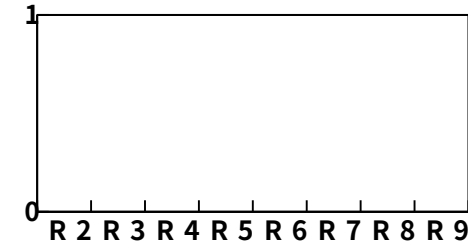
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	体育館空調設備設置に着手した校数	校	0	0	0	0	2
②							

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
体育館空調設備設置進捗率	%	目標値	0	0	0	0	3.03
		実績値	0	0	0		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
令和7年度まで実施設計及びアドバイザー業務の準備期間となり、令和8年度以降に空調設備の設置が開始される予定であるため、令和6年度の目標値は設定できない。	(目標達成度)						
	(得点)						

成果指標②

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	(目標達成度)						
	(得点)						

